

四日市版コミュニティスクール報告書（令和5年度総括）

四日市市立三重小学校

校長 松岡 佳代

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- (1) 笑顔をキーワードとして、学校・保護者・地域が協働して取り組んできたことを継続・発展させます。
- (2) 保護者や地域の声を反映した教育活動を進めるとともに、学校とともに子どもを育てる中心的な役割を果たします。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について**(1) 教育活動の実践事例**

地域の教育力を生かした活動を行ってきました。コロナ禍が明け、職員の意識も例年以上に向上し、各学年とも地域と協働した実践を積み重ねてきました。各学年の行事や授業の様子をスライドや動画を通して見ていただいたり、実際に授業している時や、休み時間の時の児童の様子を見ていただいたりしました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果**★1年生『通学路たんけん』・「長寿会との交流」**

地域のことを知るために生活科で校区に出かけました。校区をいくつかに分けて行くのですが、そのつど保護者ボランティアを募り、引率のお手伝いとして一緒に同行してもらいました。また、この他にも登校中や下校中の見守りも地域の方にお世話になっています。



長寿会から、ボランティアとして十数名の地域の方に来ていただき、昔の遊びを一緒に交流しました。子どもたちは長寿会の方たちから遊びを教えてもらい、共に交流することで楽しんで活動する姿がありました。

★2年生『校区の神社・市民センター・郵便局見学』・『野菜を育てよう』

地域のことをさらに知ることと、勤めている方とふれあうことをめあてに、学びを深めました。仕事内容を尋ねたり、お世話になったお礼にお手紙を書いたりしました。その時にも保護者ボランティアを募り、引率のお手伝いをしてもらいました。



生活科の授業の一環として野菜を育てました。一人一鉢の自分が育てたい野菜だけでなく、学年園でも野菜を育て、芽や茎が伸びていく様子を観察できました。野菜を育て



るにあたり、興農社の方に来ていただき野菜の育て方や芽かきについてのお手伝いもしてもらいました。

★3年生『万古焼体験』・『三重交番・消防団詰所見学』

体験活動として、三重地区にみえる萬古焼の陶芸家から、萬古焼は四日市の伝統産業であることを伝えてもらい、自分たちも本格的に陶芸体験をしました。自分の作ったものの焼き上がりを見て子どもたちも喜んでいました。



校区内にある三重交番や消防団詰所を見学し、地域の方の働く姿を実際に見たり、仕事について話を聞いたりしました。出かける際の引率のお手伝いも保護者ボランティアの方にしてもらいました。

★4年生『地域の防災』・『4年生の本選び』

地域の方から、災害が起こった時に大切にしなければいけないことについて、教えていただきました。地域で災害が起こった時に、学校が避難所になること、災害時に使用する防災用具や避難所関連用具を見せてもらい、使用方法を学びました。また、一日に必要な水分量や、非常食についても話を聞き、防災対策の大切さを学びました。非常食については、炊き出し訓練を実際に行いました。



図書ボランティアの方が中心となり、4年生の子どもたちに読書の面白さに気付いてもらおうと、ブックトークを実施しました。その後に、子どもたち一人ひとりが、自分で読みたい本、図書室に置いてほしい本を1冊ずつ選びました。自分たちの選んだ本は、図書室に並んでいます。

★5年生『社会見学』・『味覚の授業』

社会科の学習や総合的な学習において、食育の一環として、「味の素工場」を見学しました。実際にかつおぶしを削る体験をしたり、だしの入った味噌汁を試飲したりしました。また、商品がつくられる工程や、それが消費者に届くまでの流れ、働く人の工夫や思いにも触れました。市内にある工場なので、親近感を持って学ぶことができました。



プロのコックさんに学校に来ていただき、味覚の授業も行いました。子どもたちはコック帽をかぶらせてもらい、コックになった気分で楽しみながら授業を受けていました。鼻をつまみながら食べる、しょっぱいものや甘いものを食べる、食感のちがうものを食べるなど、いろいろな味覚を実感していました。

★6年生『総合的な学習の時間：修学旅行を成功させよう』

修学旅行の保護者説明会では、保護者ボランティアの方にご協力いただき、会場での受付や資料配布のお手伝いをしてもらいました。修学旅行当日は、金閣寺・銀閣寺を見学したり、座禅体験をしたりして社会科の歴史の学習を振り返ることができました。さらに身も心も引き締まりました。



毎回、日常の子どもたちの様子のスライドや各学年の授業の様子、学校内の学習環境を見ていただくことで、実際の教育活動を理解していただきました。また、みえ委員会の場で生まれた長寿会（地域の高齢者）の方々との交流活動は、1・4年生で継続していきたいと考えています。



今年度はさらに、食育にスポットを当て、給食の試食も一緒にしていただきました。栄養教諭から、学校給食で大切にしていることや、子どもたちには安全・安心第一で給食を提供している話をしました。

みえ委員会との協働により、地域と教職員との距離が近くなり、お互いが自然体で交流を深めることができています。子どもたちの授業の様子を視察したうえで、教育活動や学力向上についていろいろな立場からのご意見をいただくことができ、学校運営の改善につながっています。

3 今後に向けて

みえ委員会で教職員との意見交流をさらに深め、学校の実態をより理解していただく活動を続けます。また、学校だよりやホームページ等を活用し、地域や保護者に広く情報発信していきます。

今後も、「学校・子どもを支える応援団」という形で、本校教育活動に参画いただき、ビジョン達成に向けた学校づくりを推進していきます。

令和5年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立 三重小学校

委員長 藤澤 和実

学校長 松岡 佳代

月	協議会の開催	活動内容
4		
5	第1回三重小学校コミュニティスクール運営協議会（みえ委員会）	・委員の委嘱 ・授業参観 ・令和5年度学校づくりビジョンについて ・委員の皆様から（情報交換）
6		
7	第2回三重小学校コミュニティスクール運営協議会（みえ委員会）	・授業参観 ・今年度の活動 ・6・7月の様子紹介 ・委員の皆様より（情報交換）
8		
9	第3回三重小学校コミュニティスクール運営協議会（みえ委員会）	・授業参観 ・今後の予定 ・1学期末・夏休み・2学期初めの様子紹介 ・委員の皆様より（情報交換）
10		
11		
12	第4回三重小学校コミュニティスクール運営協議会（みえ委員会）	・給食の話（スライドを通して）・実食 ・給食準備中の参観 ・2学期の様子紹介 ・委員の皆様より（情報交換）
1		
2	第5回三重小学校コミュニティスクール運営協議会（みえ委員会）	・12月・1月・2月の様子紹介 ・学校評価の結果（総括） ・関係者評価 ・委員の皆様より（情報交換） ・来年度に向けて
3		